



# バンコク便り



## 1. はじめに

過日、タイ政府はプミポン前国王の命日である10月13日に前国王を偲んで、黄色の服を着用するように国民に呼びかけていました。タイでは曜日ごとに色が決まっており、月曜日の色は黄色とされています。前国王の誕生日も月曜日であったことから、黄色が前国王のシンボルカラーとなっております。それでは10月に入り雨季も終盤に差し掛かってきたバンコクより当地情報をお伝えいたします。

## 2 当地ビジネス情報

### カシコン銀行主催「飲食店経営者向けセミナー」開催

10月4日にカシコン銀行内のセミナールームで「飲食店経営者向けセミナー」が開催されました。本セミナーではカシコン銀行の他、JETROバンコク、東南アジア各国で配車アプリを展開しているGrabのフード配送部門であるGrab Food、タイ版ぐるなびやホットペッパーと言われる飲食店予約アプリ運営のEatigoからの講演がありました。これらに共通しているテーマとしてあるのは飲食店でのオンライン活用が挙げられます。現在、タイ政府ではスマートフォンやID番号を活用して行うキャッシュレス決済を推奨しています。中国では既に導入されているQRコードを読み取り決済する方法などがタイでも多くのお店で導入され、今では一部の屋台やタクシーなどでも利用できるほど浸透してきております。このキャッシュレス決済の導入の背景としては、これまで本誌で何度かご紹介申し上げました「タイランド40」政策があり、非効率な現金・小切手の利用を減らし、キャッシュレス決済を増やすことにより生産性を高めていく狙いがあります。こうした動きがASEAN各国でも進展しており、国境を越えての連携も検討され始めております。この動きは今後、ASEAN内での資金移動や、経済の活発化にも繋がり、経済統合に拍車を掛ける動きとして期待が持たれています。



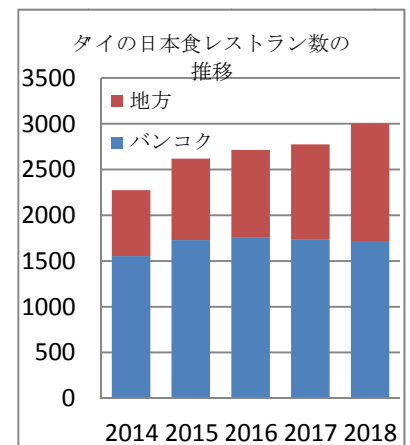
ジェトロバンコクからの講演の様子



QRコード決済用ディスプレイ

## 3. 現地トピックス

9月にJEREOバンコク事務所の発表で2018年度のタイの日本食レストランが前年度比83%増の3,004店だったとの発表があり、調査開始以降で初めて3,000店を越えました。バンコクでの店舗数は12%減の1,718店となっておりますが、地方の新規出店が24.3%増の1,286店と昨年に続き出店ラッシュが続いております。特にすし・海鮮では79.4%増の454店と大幅に増加しています。バンコクでの新規出店数は444店、閉店数は465店と出入りが激しい状況ではありますが、修行を積んだタイ人が地方で出店するケースなどもあるようです。中には山形料理を一部扱う飲食店もあり、本年11月に設立予定の山形タイ友好協会を中心にタイにおける山形の存在感がより大きくなるように取組んでいきたいと思っております。



出所:ジェトロバンコク事務所

【本件に関する連絡先】

地方創生部 海外業務G 石井、慎 023-626-9050  
バンコク駐在 (カシコン銀行ジャパンチーム) 齋藤 +66-(0)63-206-2823